

EU情勢概要

2025年2月
欧州連合日本政府代表部



欧州連合(EU)とは

～経済・通貨統合に加え、外交・安保でも協力を進める政治・経済統合体～

EUの重要性

- ① 米国と並び国際社会の一極を構成し、国際社会の平和と繁栄に主導的役割。(EUはG7・G20のメンバー)
- ② 民主主義、法の支配、人権、市場経済、自由貿易といった基本的価値及び原則を体现。
- ③ 世界のGDPの約19%、総人口約4.5億人を擁する、日本の主要貿易・投資相手。我が国の貿易総額の約10%(中、米に次ぐ第3位)(2022年)、対外直接投資額(ストック)の約16%(米に次ぐ第2位)(2022年))



(1) 略史

- **加盟国: 27か国**
(英国は2020年1月31日にEUから離脱)
- **総人口: 4億4,838万人**
(2023年)
(日本の約3.6倍、米国の約1.3倍、中国の約0.3倍)
- **総GDP: 18.6兆ドル**
(世界の名目GDPの約19%)
(日本の約4.4倍(4.2兆ドル)
米国の約0.7倍(27.7兆ドル)
中国の約1.0倍(17.8兆ドル))
※名目GDPは2023年データ

- 1952年 欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)設立(※独・仏・伊・ベルギー・蘭・ルクセンブルクでスタート)
- 1958年 欧州経済共同体(EEC)、欧州原子力共同体(EURATOM)設立 = ローマ条約発効
- 1967年 ECSC、EEC、EURATOMの理事会及び執行機関を統合し、欧州共同体(EC)と総称
- 1993年 欧州連合(EU)設立(経済通貨同盟や外交・安保、司法・内務協力も行うマーストリヒト条約発効)
- 1999年 単一通貨ユーロ導入
- 2009年 リスボン条約発効(常任の欧州理事会議長ポスト、外務・安全保障政策上級代表を新設。意思決定の効率化や民主的統制(欧州議会の権限等)の強化)

(2) 日EU関係

- 1974年 駐日欧州委員会代表部(現・駐日欧州連合代表部)開設
- 1975年 欧州共同体日本政府代表部(現・欧州連合日本政府代表部)開設
- 1987年 日EU産業協力センター設立
- 1991年 日EC共同宣言発出、定期首脳協議の年次開催を決定
- 2002年 日EU相互認証協定(MRA)発効
- 2018年 日EU経済連携協定(EPA)及び日・EU戦略的パートナーシップ協定(SPA)署名
- 2019年 日EU・EPA発効、日EU・SPAの暫定適用開始
持続可能な連結性及び質の高いインフラに関する日EUパートナーシップ署名
- 2021年 日EUグリーン・アライアンス発足
- 2022年 日EUデジタル・パートナーシップ発足
- 2024年 日EU安全保障・防衛パートナーシップ公表



欧州連合(EU)体制



メツツォラ欧州議会議長
(マルタ欧州議会議員、EPP)
2024年7月16日再任。任期は2027
年1月まで(2年半)。

欧州理事会 <首脳級>

首脳レベルの最高協議機関

- 一般的な政治的方針、優先順位を決定
- 欧州委員長の提案権
- EU理事会の編成について決定
- 欧州議会の構成に関する決定 等



コスタ欧州理事会議長
(元ポルトガル首相、S&D)
2024年12月1日就任、任期2年半
任期は2027年5月31日まで。
ユーロ圏首脳会議議長も兼任

<共同決定機関>

法案・予算・条約の承認権

欧州議会 (議席数:720)

②意見の表明



③承認又は立場の伝達
(必要な場合には調停。
但し、最終的に欧州議会
の同意が必要)

法案・予算・条約の承認権

EU理事会 <閣僚級>

各加盟国からの閣僚レベルの代表で構成。
外務理事会、経済金融理事会など。

欧州対外活動庁 <EU版「外務省」>



カッラス外務・安全保障政策上級代表
(エストニア元首相、Renew)
2024年12月1日就任、任期5年
任期は2029年10月31日まで。



フォン・デア・ライエン欧州委員会委員
長
(元独国防大臣、EPP)
2024年12月1日再任、任期5年
任期は2029年10月31日まで。

①提案

欧州委員会 <執行機関> 欧州委員:27名

③承認
指示

①提案

閣僚に相当する欧州委員が計27名(委員長、上級代表を含む)。
2024年11月27日に欧州議会の同意付与手続きを経て、202
4年12月1日就任。任期は2029年10月31日まで。

欧州中央銀行



ラガルドECB総裁
(元IMF専務理事、仏出身)
2019年11月1日就任、任期8年。



フォン・デア・ライエン欧州委員会 欧州委員の所掌



フォン・デア・ライエン
欧州委員長(ドイツ)



リベラ上級副委員長(スペイン)
クリーン・公正で競争的な移行



ヴァールハイ欧州委員(ハンガリー)
保健・動物福祉



ローズヴァル欧州委員(スウェーデン)
環境・水強靱性・
競争的循環型経済



ヴィルクネン上級副委員長(フィンランド)
技術主権・安全保障・民主主義



フックストラ欧州委員(オランダ)
気候・ネットゼロ・クリーン成長



セラフィン欧州委員(ポーランド)
予算・不正防止・行政



セジュールネ上級副委員長(フランス)
繁栄・産業戦略



クビリウス欧州委員(リトアニア)
防衛・宇宙



ヨーエンセン欧州委員(デンマーク)
エネルギー・住宅



カッラス上級代表兼副委員長(エストニア)
外務・安全保障政策



コス欧州委員(スロベニア)
拡大



ザハリエヴァ欧州委員(ブルガリア)
スタートアップ・研究イノベーション



ムンザトゥ上級副委員長(ルーマニア)
人材・技能・準備



スィーケラ欧州委員(チェコ)
国際パートナーシップ



マグラール欧州委員(アイルランド)
民主主義・司法・法の支配・消費者保護



フィット上級副委員長(イタリア)
結束・改革



カディス欧州委員(キプロス)
漁業・海洋



ツィツィコスタス欧州委員(ギリシャ)
持続可能な運輸・観光



シェフチョヴィチ欧州委員(スロバキア)
貿易・経済安全保障
機関間関係・透明性



アルブケルケ欧州委員(ポルトガル)
金融サービス・貯蓄投資連合



ハンゼン欧州委員(ルクセンブルク)
農業・食料



ドムブロウスキス欧州委員(ラトビア)
経済・生産性
実施・簡素化



ラビブ欧州委員(ベルギー)
平等
危機管理・準備



ミカレフ欧州委員(マルタ)
世代間公平性・青年・文化・スポーツ



シュイツァ欧州委員(クロアチア)
地中海



ブルンナー欧州委員(オーストリア)
内務・移民





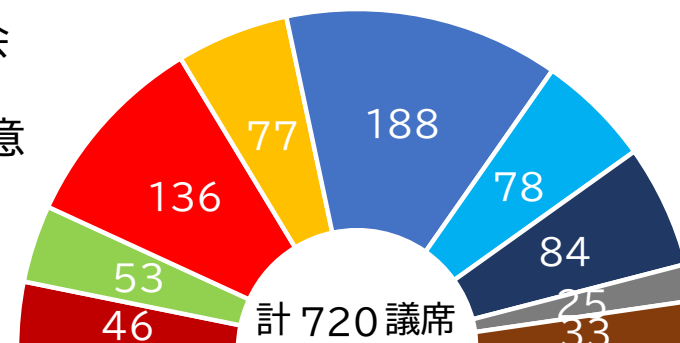
7つの柱	
1. 競争力強化	サプライチェーン、重要鉱物資源等のリスクを踏まえた「欧州繁栄計画」の策定 産業競争力や雇用創出のための「クリーン産業ディール」策定 経済の一層の循環化と強靱化の実現のため、特に重要原材料の循環にむけた「循環経済法」を提案 デジタル技術普及による生産性向上、スタートアップや産業界に新規スーパーコンピュータへのアクセスを可能とするAI促進イニシアチブの策定 戦略分野の研究費増額、「欧州バイオ技術法」の提案等、研究開発を強化 「欧州競争力基金」の提案など、投資を充てん 「職業教育・訓練のための欧州戦略」の提案等、技能と労働のギャップへの対応
2. 欧州の防衛・安全保障	欧州防衛同盟の設立(防衛担当欧州委員設置、防衛白書発表、NATOとのパートナーシップ強化 等) 即応性の強化(サイバー防衛能力強化等、新たな脅威への対応) より強固な国境管理、「欧州域内安全保障戦略」の提案、移民問題への公正・毅然とした対応
3. 市民社会の支援・強化	「欧州手頃な価格の住宅計画」 住宅担当委員、平等担当委員の設置 エラスムス+を強化
4. 生活の質の向上(食糧安保、水、自然)	「農業と食糧に関するビジョン」の策定 漁業・海洋担当委員の設置
5. 民主主義、欧州の価値	新たな「欧州民主主義の盾」の提案(デジタル対策強化含む)
6. グローバルな欧州:リーダーシップ発揮とパートナーとの連携強化	地政学的要請としての拡大(加盟候補国への支援強化、EU拡大担当委員設置 等) 近隣諸国への戦略的アプローチ(地中海地域担当委員設置、中東情勢打開への外交努力 等) 新たな経済外交政策の推進(経済安全保障、グローバル・ゲートウェイを通じた投資 等)
7. 欧州の未来への移行	EU拡大に関するレビューの実施(改革アジェンダ、条約改定の必要性議論等含む)

選挙制度・任期・権限等

- 選挙制度**:各加盟国を選挙区とする直接選挙。比例代表制。
(具体的な実施方法は、各加盟国に委任(各加盟国の政党が候補者を擁立))
- 選挙権**:18歳以上の全てのEU市民 (独・墾・ベルギー・マルタは16歳、ギリシャは17歳以上)
- 議席数**:各加盟国の人口比に基づき配分(下表参照)。
- 任期**:5年任期。現議会の任期は2029年6月まで。
- 活動**:本会議(原則毎月1回、3.5日間)を仏・ストラスブール、その他の会議をベルギー・ブリュッセルにて開催。
- 権限**:法案提出権はないが、法案・予算案の審議・議決権、条約締結の同意権、欧州委員長・委員の承認権あり。



メッツォラ
欧州議会議長
(EPP所属、マルタ出身)
2022年1月18日就任
2024年7月16日再任
任期は2027年1月まで
(約2年半)



国別議席配分

国名	議席数	国名	議席数
ドイツ	96	ブルガリア	17
フランス	81	デンマーク	15
イタリア	76	フィンランド	15
スペイン	61	スロバキア	15
ポーランド	53	アイルランド	14
ルーマニア	33	クロアチア	12
オランダ	31	リトアニア	11
ベルギー	22	ラトビア	9
チェコ	21	スロベニア	9
ギリシャ	21	エストニア	7
ハンガリー	21	キプロス	6
ポルトガル	21	マルタ	6
スウェーデン	21	ルクセンブルク	6
オーストリア	20		
計			720

欧州議会の会派

加盟国数の1/4(7か国)以上から選出された議員により構成され、かつ23名以上の議員を擁する議会勢力が会派を形成できる。以下、各国・会派の議席数(2024年6月)

会派名	傾向	議席数	国内政党
EPP(欧州人民党)	中道右派	188	独:CDU/CSU、仏:共和党等
S&D(社会民主進歩同盟)	中道左派	136	独:SPD、仏:社会党等
PfE(欧州の愛国者)	極右	84	仏:国民連合(RN)、ハンガリー:フィデス等
ECR(欧州保守改革)	右派	78	伊:イタリアの同胞、ポーランド:法と正義等
Renew Europe(欧州刷新)	リベラル	77	独:FDP、仏:再生等
Greens/EFA (緑の党/欧州自由連盟)	環境派	53	独:同盟90/緑の党等
The Left(左派)	極左	46	独:左派党等、伊:五つ星運動等
ESN(主権国家の欧州)	極右	25	独:AfD、ポーランド:同盟等
無所属		33	